

【今日の説教から】

「御子は、見えない神のかたちであって、すべての造られたものに先だって生れたかたである」との御言葉がありますが、これはイエス様が初めからおられた永遠の神ではなくて、万物の創造の前のその時に生まれ、創られた最初の被造物だという意味なのでしょうか。そうではありません。これはイエス様がすべての被造物の世界が始まる前からおられた方であり、すべての被造物にまさる神であるという事を指します。

「御子は、見えない神のかたち」です。イエス様はこう語られました。

「わたしを見た者は、父を見たのである」(ヨハネ 14 : 9)

「万物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあって造られたからである。これらいつさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。彼は万物よりも先にあり、万物は彼にあって成り立っている。

そして自らは、そのからだなる教会のかしらである。彼は初めの者であり、死人の中から最初に生れたかたである。それは、ご自身がすべてのことにおいて第一の者となるためである。」このようなお方、死から復活された方が教会のかしらであり、この方がかしらとして第一の方となり、私たちが続いていくことが出来るとは、何と力強いことでしょうか。この世の中のものすべてを作られたお方が私たちと共にいてくださるのです。

皆様、おはようございます。

昼の暑さの勢いは衰え知らずですね。しかし朝晩になれば鈴虫の音が聞かれ、とんぼの飛ぶのも見えます。過ごしやすいひと時の季節、秋の日々が待たれます。熱中症にかからず、お元氣にお過ごしでしたか。

さて、私たちはコロサイ書を読み進めております。印象的な次の御言葉がありました。

1:13 神は、わたしたちをやみの力から救い出して、その愛する御子の支配下に移して下さった。

1:14 わたしたちは、この御子によってあがない、すなわち、罪のゆるしを受けているのである。

やみの力と支配。その権威と支配の力の中にあってがんじがらめにされ、良いことをしたいと願いながらも別の力がそれに抗い、なかなか良いことをすることが出来ない。この状態についてはローマ書にてパウロの有名な箇所があります。

7:18 わたしの内に、すなわち、わたしの肉の内には、善なるものが宿っていないことを、わたしは知っている。なぜなら、善をしようとする意志は、自分にあるが、それをする力がないからである。

7:19 すなわち、わたしの欲している善はしないで、欲していない悪は、これを行っている。

7:20 もし、欲しないことをしているとすれば、それをしているのは、もはやわたしではなく、わたしの内に宿っている罪である。

7:21 そこで、善をしようと欲しているわたしに、悪がはいり込んでいるという法則があるのを見る。

7:22 すなわち、わたしは、内なる人としては神の律法を喜んでいるが、

7:23 わたしの肢体には別の律法があって、わたしの心の法則に対して戦いをいどみ、そして、肢体に存在する罪の法則の中に、わたしをとりこにしているのを見る。

7:24 わたしは、なんというみじめな人間なのだろう。だれが、この死のからだから、わたしを救ってくれるだろうか。

7:25 わたしたちの主イエス・キリストによって、神は感謝すべきかな。このようにして、わたし自身は、心では神の律法に仕えているが、肉では罪の律法に仕えているのである。

8:1 こういうわけで、今やキリスト・イエスにある者は罪に定められることがない。

8:2 なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の法則は、罪と死との法則からあなたを解放したからである。

8:3 律法が肉により無力になっているためになし得なかった事を、神はなし遂げて下さった。すなわち、御子を、罪の肉の様で罪のためにつかわし、肉において罪を罰せられたのである。

闇の支配から解放されている。御子によってあがない、すなわち、罪のゆるしを受けている。このことがどれほど大きな出来事なのか、どれだけ大きな恵みであり、救いなのかという事が聖書には繰り返し記されています。このことの意味を私達も深く考えたいと思います。私たちは暗闇の力にはもはや隷属しておらず、私たちは暗闇の力から主の贖いによって自由にされ、愛なる御子の支配下におられているというこの事実は、なんと素晴らしいことでしょうか。恐怖政治からの解放、ナチス党からの人民の解放など、耐えられない苦痛からの解放を歴史の中に見ますが、それにまさってこの解放は人類全体の素晴らしいニュース(福音)であるということが出来ます。

1:15 御子は、見えない神のかたちであって、すべての造られたものに先だって生れたかたである。

なぜ御子イエス様がそこまでなさったのか。それはイエス様が万物をお造りになられたお方であるからです。

1:15 御子は、見えない神のかたちであって、すべての造られたものに先だって生れたかたである。

この御言葉はしばしば曲解を招く箇所です。

御子は神様のイメージであり、イメージに過ぎず、すべて作られた被造物よりも少し前に生まれた、いわば創られた存在、つまり永遠の昔からおられる神様ご自身とは違う存在であるという、そういう考え方がありますが、それは正しいのでしょうか。もちろん正しくはありません。

これはことごとくすべての被造物が作られる前からおられたという事であり、イエス様は被造物ではないという事を示します。そしてすべての被造物に勝り、優越するという意味を持ちます。そして、イエス様はこのようにおっしゃいました。

ヨハネ 14:9 イエスは彼に言われた、「ピリポよ、こんなに長くあなたがたと一緒にいるのに、わたしがわかっていないのか。わたしを見た者は、父を見たのである。どうして、わたしたちに父を示してほしいと、言うのか。

1:16 万物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあつて造られたからである。これらいつさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。

万物は、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあつて造られた。

このことにより、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威もすべて、万物が、造られた御子よりも決して勝るものではないということが分かります。造った方と造られたものと、どちらが勝るものかという事は一目瞭然だからです。御子イエス様は、「万物は、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も」、そのすべてにおいて君臨するお方です。

彼は、自らはと、17－18節にわたり、イエス様がどういうお方なのかが力強く示されています。

1:17 彼は万物よりも先にあり、万物は彼にあつて成り立っている。

先にあられる御子がおられなければ、源であり、原因であるお方がいらっしゃらなければ万物は創造しないのです。御子によって万物は成り立っているのです。そしてその造り主なるお方は力と支配権をもって今も導いておられます。万物が成り立っている。成立している。

ごく当たり前のように今、この在り様において存在しているという事はそのことは御子イエス様によっているのです。

1:18 そして自らは、そのからだなる教会のかしらである。彼は初めの者であり、死人の中から最初に生れたかたである。それは、ご自身がすべてのことにおいて第一の者となるためである。

彼は初めの者。16節に「位も主権も、支配も権威も」とありましたが、3番目にありました「支配」という言葉が「初めの者・元祖・始まるきっかけ・原因」という意味を持つ言葉であり、ここでも「初めの者」としてその単語が現れています。初めからおられた方であり、世界の始まりの始原を築いた方であり、そして罪を贖い、死して復活した最初の方でもあります。世界の始まりの創造も、救いも、実に御子イエスキリストにかかっているのです。この方こそすべての者に勝った第一のお方です。

1:19 神は、御旨によって、御子のうちにすべての満ちみちた徳を宿らせ、

1:20 そして、その十字架の血によって平和をつくり、万物、すなわち、地にあるもの、天にあるものを、ことごとく、彼によってご自分と和解させて下さったのである。

この御子イエス様には私たちが見て知って、学ぶべきものに満ちています。

イエス様の中に、満ち満ちた徳が宿っています。そして、イエス様を通して、イエス様を通してのみ、その尊い血潮による贖いによって万物、すなわち、地にあるもの、天にあるものを、ことごとく、彼によってご自分と和解させてくださったのです。

イエス様は造り主でいらっしゃるからこそ、ご自身が始原者として造られたその世界のために命を捨てられるのです。

1:21 あなたがたも、かつては悪い行いをして神から離れ、心の中で神に敵対していた。

1:22 しかし今では、御子はその肉のからだにより、その死をとおして、あなたがたを神と和解させ、あなたがたを聖なる、傷のない、責められるところのない者として、みまえに立たせて下さったのである。

1:23 ただし、あなたがたは、ゆるぐことがなく、しっかりと信仰にふみとどまり、すでに聞いている福音の望みから移り行くことのないようにすべきである。この福音は、天の下にあるすべての造られたものに対して宣べ伝えられたものであって、それにこのパウロが奉仕しているのである。

心において、理解において、意志において、思いにおいて、態度において、私たちは神の敵となり、神様に敵対して、神様に造られた者でありながら、ついにはよそ者のようになり果ててしまいました。

しかし今、神様は御子の肉体により和解を与えてくださいました。それは私たちが清く、取り分けられたものとして神の前に立つため、落ち度なく、非難されることのないものにしてくださったのは、御子の死によるものでした。

この上は、御子イエス様に対する堅い信仰に立ち、動かされることなく、この良き知らせ、福音の中にあって、心において、理解において、意志において、思いにおいて、態度においてこの信仰に難く立ち、私たちが聞いた福音に従って、その恵みの中にあって生きていきたいと願うのです。宣べ伝えられるものあつての私たちに伝えられたこの良き知らせに感謝し、私たちも先人たちの労苦に感謝して、自らも伝える者でありたいと願います。

この教会の頭は、万物を作られた主、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあつて造られたからです。信で復活された方、愛と誠をもってご自身の創られた世界を守り導いてくださるお方がこの私たちの教会の頭ですから、私たちもまた希望をもって進むことが出来るのです。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。

御子は、見えない神の姿であり、万物は御子において造られました。天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、王座も主権も、支配も権威も、万物は御子において造られました。私たちはこの世界の中で様々な悩みがありますが、この世界を作られた御子がおられれば、この世界の中に起こるすべてのことを御子はその権威をもって治めることが出来ますから希望を抱きます。そしてそのお方が教会の頭ですから、教会も折々に主の最善のお導きを頂けますことに感謝いたします。どうぞあらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。私たちをお用い下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン